

指定管理者評価シート

事業名	老人福祉センター運営管理費	所管課(電話番号)	保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課(211-2976)
-----	---------------	-----------	-----------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市厚別老人福祉センター	所在地	厚別区厚別中央1条7丁目
開設時期	平成4年4月	延床面積	1,560㎡
目的	老人に対する福祉の増進		
事業概要	老人に対する生活相談、健康相談、機能回復訓練及びレクリエーションの実施、職能訓練及び就職の指導、老人デイサービス事業、浴室その他の施設を老人の使用に供すること		
主要施設	大広間、職能訓練室、機能回復訓練室、浴室、娯楽室		
2 指定管理者			
名称	(社福)札幌市社会福祉協議会		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	非公募		
	非公募の場合、その理由：当センターで実施している老人デイサービス事業において、利用者に対し適切なサービスを提供していくためには、利用者と施設職員との間には継続的な人的信頼関係が必要不可欠であり、指定管理期間の満了により指定管理者が変更されると、施設の管理運営に重大な支障をきたし、利用者に不利益を与えるおそれがある。管理が良好に行われている法人であるため、非公募とした。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	施設管理業務、各種相談業務、健康増進業務、教養講座業務、レクリエーション業務、老人デイサービス業務		
3 評価単位	施設数：1施設		
	複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 平成28年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1) 統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 ▼ 設置目的を実現すべく、当法人が掲げる5つの原則(人間性、平等性、サービス性、地域性、効率性)に基づき、①人にやさしく、心のかよい合うサービスの提供②だれもが安心して利用できる施設づくり③サービスの質の向上と改善④地域から愛され信頼される施設づくり⑤効率的な経営の5つの基本方針を策定している。	当法人の基本理念及び札幌市の高齢者対策、方針に基づき適正な管理運営を行うことができた。	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%; background-color: yellow;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> 仕様書に沿った適切な管理がなされている。	A	B	C	D
A	B	C	D				

<p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼当法人の5つの基本原則の「平等性」に基づき、「公の施設である老人福祉センターの利用にあたっては、不当な差別的取扱いをしてはならない」という方針を策定し、研修やミーティング、掲示等により関係法令の遵守の徹底を職員に図り利用者の視点に立ったサービスの提供を行った。</p>	<p>基本原則に基づいた基本方針や取組項目を策定し、適正に取組むことができた。</p>
<p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>▼当法人の環境保全行動計画に関する要綱に基づき、エコ活動の推進に取組み、二酸化炭素排出量の削減のため、光熱水費等を節約し、環境への配慮に努めた。</p> <p>▼廃食油回収ボックスを設置した。</p> <p>▼デイサービス送迎の運転時はアイドリングストップや穏やかな発進等を実践し、エコドライブを推進した。</p> <p>▼物品等はグリーン製品購入の推進に努めた。</p> <p>▼環境へ配慮した取組みに関して職員研修を行った。</p>	<p>各種取組により、環境への配慮に取り組んだ。</p>
<p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置・組織の整備、従事者の確保・配置、人材育成・研修計画、労働関係法令の遵守・雇用環境の維持向上)</p> <p>▼仕様書どおり責任者・従事者を配置した。</p> <p>▼指揮命令系統、業務分担等を事務分掌にて定めた。</p> <p>▼研修計画に基づき、更なるサービス向上のための職員研修を実施するとともに、その内容を全職員に周知するなど人材育成に努めた。</p>	<p>左記の取組により、管理運営組織を確立している。</p>
<p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <p>▼担当者から施設長までの各職階ごとの会議を行い、適時、日々の業務の課題や問題点、その対応方法について適確な情報交換を行なうとともに、ネットワークシステムにより各施設間において必要な情報を共有した。</p> <p>▼業務の見直し改善を各種会議で図るとともに、当法人が管理する市有施設の施設長が一堂に介し、各施設が抱える諸問題等について検討を行う「定例施設長会議」等で情報の共有を図った。</p>	<p>必要な情報の共有を図り、管理水準の維持向上に向け取り組んでいる。</p>
<p>▽ 第三者に対する委託の方針(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)</p> <p>▼適正な施設の維持管理を行なうため、専門的な知識が必要な業務を委託し、履行時の確認及び報告書等の提出を求め、必要に応じて改善・指導を行なった。</p>	<p>業務の履行確認を適宜行い、適正な管理を行なった。</p>

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 平成29年 2月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・アスベスト工事に関する報告について ・平成27年度管理業務報告及び平成28年度管理業務中間報告等について ・平成28年度利用者アンケート及び苦情報告等について ・平成29年度大規模修繕工事に係わる休館(予定)について ・平成29年度に向けた取組について(市民サービスや管理水準の維持向上)
<p><協議会メンバー></p> <p>新さっぽろ町内会会長、福祉のまち推進センター長、地域包括支援センター長、教養講座講師、サークル代表者、センター利用者、札幌市高齢福祉課職員、館長、副館長</p>	

仕様書に基づき、協議会を開催し、活発な意見交換を行った。

▽ 財務(資金管理、現金等の取扱)

- ▼資金管理については、「資金管理運用規程」により、資金の区分、運用の基本方針、運用対象等について定められており、資金の適正かつ効率的な管理運用を行った。定期的に監事監査や公認会計士による外部会計監査を導入している。
- ▼現金等の取扱いについては、「経理規程」に基づき、「経理事務の手引き」を定め、不適切な経理事務の未然防止として、外部監査、内部監査、月末残高照合を実施するとともに、日常的に現金実査を行っている。

適切な管理を行っている。

▽ 苦情対応

- ▼当法人苦情解決処理規程及び苦情解決処理要領に基づき、適切に対応することとしている。また、必要に応じて苦情を解決していく過程のなかに客観的な視点を入れることを目的とした外部の有識者3名による「第三者委員」も設置している。

要望・苦情等については迅速かつ適切に対応している。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

- ▼利用者ニーズに積極的に対応するため、1月にアンケート調査を行い、結果を掲示した。また、意見・要望等については、可能な限り改善を行なった。報告については遅滞なく、自己評価は「事業評価に関する要綱」に基づき、各種実施項目の評価を行った。

意見・要望等は整理して今後のサービス向上につなげるため、職員会議に諮り改善を行なった。

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼就業規則等については、各種関係法令を遵守するとともに、各職員に過度の負担がかからないよう勤務割等に配慮した。</p>	<p>関係法令の遵守はもちろん、勤務割も希望により配慮する等、就業しやすい環境づくりを行った。</p>	<p>A B C D</p> <p>法令を遵守したほか、職員の勤務希望を聞くなど、職場環境向上への姿勢が見られる。</p>
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼定期的に避難誘導・通報等の訓練を実施した。</p> <p>▼AED講習会を実施した。</p> <p>▼当法人で平成27年4月に新たに策定した感染症予防マニュアルに基づき、利用者への感染対策を図った。</p> <p>▼冬道の安全確保のため、「ひとつぶの思いやり運動(利用者による砂まき)」を行なった。</p> <p>▼地元町内会・老人クラブと「合同交通安全教室」を実施した。</p> <p>▼緊急時等におけるセンター連絡体制を作成し、最短の時間で連絡可能な体制を確保した。</p> <p>▼指定管理業務仕様書に適合した施設賠償責任保険に加入した。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼清掃、警備、施設保全、電気工作物、施設管理、除雪業務は委託を行い、適正に管理を行なった。</p> <p>▼設備、機器類は委託による予防保全を行い、利用に支障のないよう速やかに修繕を行なった。</p> <p>▼備品台帳を備え、適正かつ効率的な備品管理を行なった。</p> <p>▼駐車場管理については、適時見廻りを行い無断駐車防止と近隣の安全確保に努めるとともに、必要に応じて館内放送等で案内・誘導を行なった。</p> <p>▼外構緑地に関しては、1日2回見廻り点検を実施し、美観の保持、利用者の安全、防犯及び近隣への配慮を維持した。</p> <p>▽ 防災業務</p> <p>▼仕様書に基づいた防災業務計画を策定し、年2回(6月、11月)自衛消防訓練を実施した。</p> <p>参加利用者数 6月:42人/11月:62人</p>	<p>利用者の安全を第一に必要な配慮を行い、安全確保に取り組んだ。</p> <p>仕様書に基づき、適切な管理を行なった。</p> <p>仕様書に基づき、適切な防火管理を行なった。</p>	<p>A B C D</p> <p>利用者の安全確保及び施設管理について、良好に行っている。利用者だけではなく、関係団体と連携し、地域住民等にも安全の啓発を実施したことが評価できる。</p>

(4)事業の計画・実施業務	▽ 生活相談等に関する業務		A	B	C	D
			<p>▼有資格者が利用者の生活、住宅、福祉等の様々な個別相談を受ける体制をとっている。636件(計画300件)</p> <p>▼看護師を中心として利用者の疾病予防、食事等に関する相談を実施するとともに、自己管理に役立つよう施設内に自動血圧計を設置している。利用件数 4,019件</p> <p>▼利用者満足度:81.08%(計画80%)</p>	<p>利用者の方が健康で安心した生活を継続して営むことができるよう、各種相談事業を積極的に推進した。</p>	<p>仕様書に沿って、適切な業務を行っている。健康増進、機能訓練に関する業務では、利用者のニーズを把握し、満足度が目標値に達するよう改善を図ってほしい。</p>	
<p>▽ 健康増進、機能訓練に関する業務</p> <p>▼転倒予防教室を年78回実施した。延参加人数 1,600人</p> <p>▼輪踊りダンスを月2回実施した。延参加人数 644人</p> <p>▼ウォームシェア事業として椅子を使った骨盤体操、座ってヨガを実施した。参加人数 138人</p> <p>▼太極拳を年4回、あへあほ体操を年8回実施した。延参加人数 453人</p> <p>▼高齢者の体力の維持、向上、増進等訓練のため、各種訓練機器を設置している。利用人数 4,900人</p> <p>▼利用者満足度:82.22%(計画85%)</p>	<p>高齢者の健康維持・増進を図るとともに、介護予防を踏まえた、地域連携による健康増進事業を積極的に推進した。</p>					
<p>▽ 教養講座に関する業務</p> <p>▼自由参加講座を7講座実施。延参加人数 10,254人</p> <p>▼定員制講座を9講座実施。延参加人数 3,732人</p> <p>▼申込定員参加率:100%(計画90%)</p> <p>▼利用者満足度:93.04%(計画80%)</p>	<p>満足度の目標値を達成しており、同業務による高齢者福祉の増進を図ることができている。</p>					

▽ レクリエーション、各種行事の開催等に関する業務

- ▼レクリエーション参加人数 35,137人
- ▼読書、卓球、囲碁、将棋、オセロなど開館日に娯楽室等を開放し、利用者相互の交流の場を提供した。
- ▼各種行事参加人数 2,866人
- ▼春季行事として、演芸発表会・民謡発表会・囲碁大会・卓球大会を実施した。参加人数 326人
- ▼高齢者福祉週間行事として、ダンスを楽しむ会・民謡発表会・囲碁大会・お茶会・卓球大会・演芸発表会を実施した。参加人数 401人
- ▼地域との合同行事として、合同納涼盆踊り大会を実施した。参加人数 74人
- ▼年末行事として、Xmasダンスパーティー・演芸の集いを実施した。参加人数 133人
- ▼新春行事として、マジックショー・初釜・かるた大会を実施した。参加人数 126人
- ▼地域福祉への理解を深めるため、「地域見守りサポーター養成講座」及び「ボランティア講座」を実施した。参加人数 24人
- ▼センター利用者を中心に出演、演奏した「ピースコンサート&フラダンスショー」を実施した。参加人数 68人
- ▼講座及びサークルの作品発表の場として、文化祭及び卒業作品展を実施した。見学者数 664人
- ▼老人福祉センター10館合同作品展(2日間)を開催した。見学者数 708人
- ▼当法人が運営する市有施設協働で健康測定などを行う「はつらつ健康まつり」を開催した。来場者数 238人
- ▼行事申込定員参加率:100%(計画90%)
- ▼レクリエーション・行事利用者満足度:94.81%(計画85%)

各種行事は前年より多くの方が参加され、満足度の目標値も達成した。利用者が交流の場として楽しんでいると思われる。

▽ 老人デイサービス事業に関する業務

- ▼利用人数 4,282人
- ▼要介護状態及び要支援状態にある高齢者に対し、生活習慣、家庭環境、身体状況等に応じて以下のサービスを提供した。
送迎、健康チェック、食事、入浴、排泄、心身機能の回復・維持、個別機能訓練、介護予防サービス、相談・助言、家族介護教室、その他の行事・レクリエーション等
- ▼利用者満足度:93.44%(計画85%)
- ▼地元中学校に職場体験学習の場として活用してもらった。

さらに満足度の高いサービス提供に努めたい。
アスベストに係わるボイラー停止による入浴中止の影響で、他の事業所に移る等の理由により利用者の減少となったが、仕様書に基づくサービスの提供を行い、満足度が目標値を上回る事ができた。

<p>▽ 高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼講座修了生の自主的サークル活動の支援や地元町内会などの地域住民、老人クラブ等に空室を提供して、施設の有効活用を図った。利用人数 18,944人 ▼地域活動応援講座として、地元小学校数校から小学生が参加した「子ども囲碁教室」を第一土曜日を除く毎週土曜日(13～15時)に空き室を利用して実施した。参加人数 267人 ▼老福センターのカラオケサークルによるデイサービス慰問の機会を設け平成28年度は4月と8月の2回実施した。延参加人数 31人 ▼地元住民の高齢者の交流の場として、「ふれあいいきいきサロン」を実施した。参加人数 263人 ▼振り込み詐欺を防ぐために、札幌市出前講座を実施した。参加人数27人 	<p>地域活動の拠点となるよう積極的な施設の開放を行なっている。</p>
<p>▽ その他設置目的に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼社会貢献として、福祉を志す学生や看護実習生等を積極的に受け入れた。延受入人数 93人 ▼運動能力向上事業修了者等を対象とした「転倒予防教室：楽笑クラブ」を地域包括支援センター・介護予防センター等と協働で定期に開催し、介護予防の増進に努めている。年78回、延 1,600人参加 ▼近隣中学校の「就業体験」や「地域ボランティア体験」を積極的に受け入れた。延受入人数 21人 ▼地元小学校との交流行事(短編劇の発表や折り紙のプレゼントなど)を実施した。参加人数 92人 ▼当センターから健康・介護等の情報を発信する目的で、老人クラブ会員や地域住民も参加可能な「健康セミナー」を開催した。年6回、延参加人数 136人 ▼運動能力向上事業の充実を図ることを目的として「いきいき介護予防体操教室」を開催した。参加人数 160人 ▼文化創作活動の発表と文芸を通しての交流を目的として、老人福祉センター利用者から作品を募集し、合同文集「輝き」を発行した。 ▼施設のロビーに福祉情報コーナーを設置し、通年で福祉関係の情報を掲示している。また、ボランティア講座時等に厚別区社会福祉協議会職員と共に各種相談会を実施した。 	<p>社会貢献や介護予防事業等の各種取組を行ない、福祉の増進及び情報の発信を図っている。施設のロビーに「福祉情報コーナー」を設置したことや厚別区社会福祉協議会をはじめ、地域包括支援センター等の地域にある団体との連携を行うことで、相談内容に応じた関係機関を紹介し、地域福祉の充実に貢献できるよう努めた。</p>

<p>(5) 施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" data-bbox="384 197 981 327"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H27実績</th> <th>H28計画</th> <th>H28実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>人数(人)</td> <td>60,069</td> <td>60,000</td> <td>55,888</td> </tr> <tr> <td>浴室</td> <td>人数(人)</td> <td>7,157</td> <td>6,540</td> <td>5,262</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認0件、 取消し0件、 減免0件、 還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼全施設アンケートを実施し、利用者ニーズを把握している。 ▼利用者を委員に加えた運営協議会を開催し、適切な施設運営の参考とした。 ▼地域協働行事や地域児童を対象とした囲碁教室の実施など施設PRを図った。 ▼利用者の意見要望などタイムリーなニーズを把握するため、ご意見箱を設置している。 ▼毎月、福祉のまち推進センターや地元町内会に館内新聞を届けPRを図った。 			H27実績	H28計画	H28実績	全体	人数(人)	60,069	60,000	55,888	浴室	人数(人)	7,157	6,540	5,262	<p>入浴は有料化から利用人数の減少傾向が続いている。健康に関する講座や体操教室など健康増進事業の利用が顕著に向上しているが、アスベスト断熱材剥落によるボイラー停止の影響で全体としては前年度より減少した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ボイラー停止という予測不能な事態により利用者数は減少したが、利用者に誠実に対応し適切な業務を実施した。</p>	A	B	C	D				
		H27実績	H28計画	H28実績																						
全体	人数(人)	60,069	60,000	55,888																						
浴室	人数(人)	7,157	6,540	5,262																						
A	B	C	D																							
<p>(6) 付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ホームページによりタイムリーな情報を積極的に提供した。 ▼教養講座募集や行事開催時には広報さっぽろへの掲載を行なった。 ▼他の老人福祉センターの広報誌も希望される利用者に配布できるようにし、利便性を高めるとともに広報活動の強化を図った。 ▼町内会用のセンターだよりを作成し、定期的(月1回)に配布しPRを行なった。 ▼福祉のまち推進センターの独居老人の見守り事業に協力すべく、当施設の利用等に関するチラシを作成し、定期的(月1回)に配布しPRを行なった。 <p>▽ 引継ぎ業務 (前回から継続指定のため、引継業務なし)</p>	<p>各種媒体を利用し、積極的に施設PRの推進を図った。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>適切な広報活動を実施している。新たな手法についても検討し、利用を促進してほしい。</p>	A	B	C	D																			
A	B	C	D																							
<p>2 自主事業その他</p>																										
<p>▽ 自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼飲料の自動販売機を設置し、利用者の利便提供を図った。 手数料収入 193,855円 <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼清掃業務を障がい者団体に委託した。 ▼施設修繕及び物品購入は市内業者を中心に発注した。 ▼障がい者団体に週1回手作りパンの販売場所を提供している。 	<p>他の一部の老人福祉センターにある喫茶コーナーに替わるカップ式自販機を設置しており、利用者への利便提供を行っている。</p> <p>市内企業を活用する他、福祉施策への配慮を心掛け、実践できた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>札幌市の施策に沿った業務を実施している。</p>	A	B	C	D																				
A	B	C	D																							

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	期間中(1/13~1/27の15日間)に利用する利用者を対象にアンケート用紙を配布し記入していただく。回収362枚(回収率92.8%)
結果概要	今年度の満足度目標値は80~85%以上で設定し、教養講座:93.04%、健康増進:82.22%、行事:94.24%、職員対応:92.58%と全体で87.70%と、目標値は達成したが、今後においても、更なるサービス提供により満足度の向上を図っていく。
利用者からの意見・要望とその対応	・新しい内容の開講希望については、講座室の空き状況から現時点では困難である旨ご理解をお願いした。

今年度も362枚と多くの方に協力を得ることが出来た。また、満足度についても目標値を達した。

A	B	C	D
満足度は高い評価であり、適切な業務実施していると判断できる。今後も、魅力ある施設にしてほしい。			

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	H28計画	H28決算	差(決算-計画)
収入	85,319	74,844	▲ 10,475
指定管理業務収入	85,079	74,587	▲ 10,492
指定管理費	41,669	41,669	0
利用料金	43,005	32,508	▲ 10,497
その他	405	410	5
自主事業収入	240	257	17
支出	84,969	74,935	▲ 10,034
指定管理業務支出	84,873	74,836	▲ 10,037
自主事業支出	96	99	3
収入-支出	350	▲ 91	▲ 441
利益還元	0	0	0
法人税等	350	350	0
純利益	0	▲ 441	▲ 441

概ね計画通り執行した。

A	B	C	D
予測不能なボイラー停止による利用者数の減少に伴う収入の減があったなか、支出の削減等により収支のバランスをとるよう努めたことについて、評価する。			

▽ 説明

▼収入は煙突用アスベスト含有断熱材の剥落に伴うボイラー停止による影響で、浴室利用料収入および通所介護事業の介護保険事業収入の減により計画より10,475千円減となった。
▼アスベストの影響等による収入減はあったものの、光熱水費や燃料費の不用、消耗品費及び法人本部経費の削減等により支出を計画より10,034千円減とした。

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。		
<p>▽ 安定経営能力の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事業の運営管理は、指定管理費及び通所介護事業の介護保険収入で行われており、支出の抑制も図りながら、収支のバランスをとり、安定した経営を行っている。 		<p>適 不適</p>
<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護については、当法人の「個人情報保護方針」及び「個人情報の保護に関する規程」に基づき適正に対応している。 ・情報公開については、当法人の「情報公開規程」に基づき透明性の確保に努めている。なお、請求は0件であった。 ・暴力団の排除については、札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、施設を暴力団の活動に使用させないことや、協定に関する契約については暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないように努めている。なお、暴力団関係と思われる相手方の利用や契約の実績はなかった。 		<p>適 不適</p>

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>管理業務仕様書及び事業計画書に沿った事業運営を概ね順調に実施した。町内会、老人クラブによる共催行事の実施、子供囲碁、町内会活動等地域への積極的な空室開放、介護予防等に係る事業などを開催したことは老人福祉センターの認知度を広めた。そして、地域、市民の活動の拠点広く活用することができた。</p> <p>煙突用アスベスト含有断熱材の剥落によるボイラー停止の影響で、老人福祉センター及びデイサービスの利用人数が減少となったが、今後も更に誰でも気楽に利用できアットホームな魅力あるセンター作りへの積極的な取組を行い、利用増を図っていく。</p>	<p>来年度以降も引き続き「健康セミナー」を定期的に開催することで施設利用者をはじめ、老人クラブや地域住民との交流を推進するとともに、地域福祉活動の拠点となるよう「地域見守りサポーター養成講座」や「認知症サポーター養成講座」を定期的に開催し、積極的に福祉の増進を図る。また、ニーズの高い健康に関する体操教室等を引続き開催し、利用促進に取り組む。さらに、利用者や地域のニーズを把握し、施設運営に活用していくために「運営協議会」を年2回実施する。</p>
【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>施設目的に沿って、適切な運営管理が行えている。利用者のための施設としてだけでなく、地域交流や多世代交流の場としての役割を果たすなど、地域の福祉の増進を図る施設としての運営を実施している。</p> <p>予測不能な事態の中でも、利用者に誠実なサービスを可能な限り実施したことを評価する。</p>	